

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	春日井市第二希望の家		
○保護者評価実施期間	6年 12月 2日 7年 2月 10日	～	6年 12月 13日 7年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年2月5日		～ 令和7年2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・併行利用に関する関係機関との連携	・保護者に承諾をいただき、定期的な電話連絡や年1～2回の訪問での情報共有を実施している。 ・療育支援事業を通して、地域の保育園、幼稚園、認定こども園との交流の機会を設定している。 ・地域の保育園の園庭開放に参加している。 ・年1回、公立保育園保育士との合同研究会を企画・実施している。	・電話連絡、訪問以外の効率的な情報共有を実施できるツール(紙面等)を検討していく。 ・午後に新たにフォローアップ療育を実施する等スムーズな移行支援を図る。
2	・家族支援の充実	・親子通所を実施しており、早期発達支援の受け皿としての実績がある。保護者同士が交流できる場の設定や随時面談等で相談支援できる体制を整備している。 ・保健師や地域の保育園・幼稚園等関係機関との連携が構築されているため、随時情報共有を実施している。 ・修了した児童の保護者を対象にOB会を実施し、保護者同士の交流、情報交換の場を提供している。	・面談の回数や相談しやすい時間、場の周知を工夫していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との連絡調整の不自由さ	・連絡手段が、電話、幼児室の掲示板のみになっている。	・次年度、連絡ツールの一貫として、アプリの導入を検討している。
2	・個々の状況に合わせた環境設定	・使用できる部屋や時間帯に制限があり、別室対応ができないことがある。 ・幼児室は、アコーディオンカーテンが設置されているが、利用児がぶつかると怪我をする危険性があるため、仕切りとして使用しづらい。	・幼児室内の空間設定を検討する。 ・アコーディオンカーテン以外の個別スペースの確保方法を検討する。 ・別室の使用について、活動時間に合わせて活用できるように工夫する。
3			